

令和5年度柏市不法投棄対策協議会会議録
(各委員等からの御意見・御提案及び回答)

(中野委員)

柏市の公道への不法投棄について、例年投棄件数が多く見受けられる。この現状について、なぜそのような状態が起こっているのか、また、今後どのように啓発を行っていくべきなのか、柏市の意見を伺いたい。

(事務局)

公道への不法投棄について、年々減少しているが他の場所に比べると件数が多く、問題視されている。

柏市の道路は、市街や田園地域と多岐に渡り市の様々な場所に存在している。

柏市として、看板や防犯カメラの啓発物を設置し不法投棄の減少に向け取り組んでいく。

(中野委員)

不法投棄が繰り返される場所については柏市は把握をしているのか。

(事務局)

ある程度ではあるが把握している。人目につかない、暗い場所に投棄される。土地の所有者様にご協力していただき、不法投棄防止の看板を設置させてもらい再発防止に努めている。

(糸井委員)

柏市内にある防犯カメラは実際に稼働をしているのか。

(事務局)

詳細をお伝えすることはできないが、全てが稼働しているわけではない。見られている状態により、不法投棄防止の啓発となっていると考える。

(染谷弘之委員)

回収実績の資料の中に、民地とあるが、民地の回収はしているのか。以前の自分の経験ではあるが、民地の不法投棄を柏市に回収してもらえなかったことがある。教えていただきたい。

(事務局)

柏市にて、民地の不法投棄の回収を行うことは基本的にはないが、柏市道と民地の境界確定を行っていない場所については、土地所有者と協議を行い、回収を行う場合もある。その代わりとして、不法投棄防止の対策として、フェンス等の設置をお願いすることや、柏市にて、無料で配布している不法投棄防止看板の設置をしてもらうことにより、再発防止策を取ってもらっている。しかしながら、明らかに民地内への不法投棄の場合は、投棄者情報等が分らない時には土地所有者にて処理をしていただくようご案内をしている現状である。